

公孫樹

東京都立
豊多摩高等学校
令和6年7月
第64号
東京都杉区
成田西2-6-18
TEL 03(3393)1331

「時間の使い方」

学校長 板倉 和則

「あきらめたら、そこで試合終了！」わかってはいるけれど、勉強も難しくなって授業についていくだけで精一杯、部活動も体力的に疲れてしまっただけ、家に帰ればお風呂入って寝るだけ。時間がないし、あれもこれもなんでもう無理！部活を辞めるか？…そんな人！ちょっと、待った！

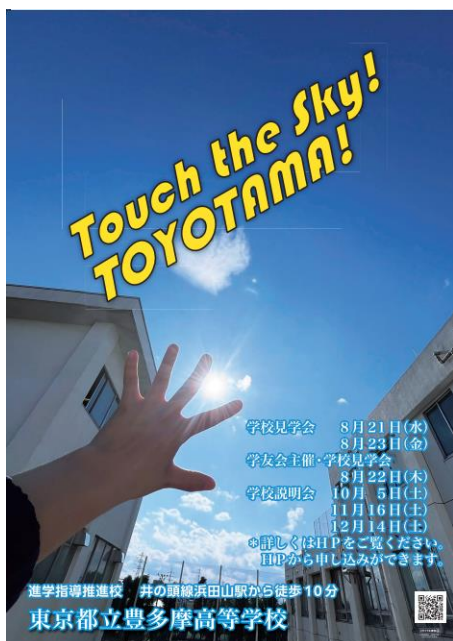
「二兎を追え」「少なくとも三兎を追え」を目標に掲げる高校があります。言うまでもなく「二兎を追うものは一兎をも得ず」ということわざに由来しますが、逆に言えば「二兎を追わずして二兎を得ることはない」わけで、あえて困難な課題を課すことによって自分を鍛え、さらに高みを目指そうという趣旨です。本校の「文武両道」や「両立」も同じです。

モノクロニックとポリクロニックという時間の捉え方があります。モノクロニックは、単線で順序立てて物事に取り組みます。一つ一つの成果が見えやすいというメリットがあり、計画時間が崩れやすいというデメリットがあります。これに対してポリクロニックは、計画や順序はあくまでも目安で、複数のことに並行して取り組みます。あくまでも感覚的な違いというのですが、どちらが正しいということではないのですが、時間を有効に活用するという点では、ポリクロニック型の優れ

ている点もおわかりいただけると思います。

限られた時間にたくさんのご機嫌をこなすという命題に対して、誰もが有する時間は不公平なく24時間。これをどのように使うかは、本人次第。時間の使いかたによって得られる成果に差が出るわけです。すなわち、チャンスは平等ですが、結果は平等ではない。ボーっとしている時間、ゲームに手を伸ばしている時間、何気なくスマホをいじっている時間…それだけでもかなりの時間になっていることをお忘れなく。

Touch the Sky! TOYOTAMA!



「挨拶」

副校長 土崎 祐一郎

私は、令和6年4月に着任しました副校長の土崎祐一郎と申します。担当教科は保健体育で剣道が専門です。昭和63年3月に大学を卒業し、昭和63年4月から非常勤講師として東京都に奉職し、6月に都立江戸川高等学校校定時制の正規教員として採用されました。その後、都立市ヶ谷商業高等学校全日制、都立蒲田高等学校全日制、都立小台高等学校全日制を経て、平成28年4月より管理職として副校長に昇任しました。副校長として都立東大和南高等学校全日制、都立竹台高等学校全日制、都立松原高等学校全日制に勤務し現在に至っております。

私は教職員歴37年を迎え、今年度末には60歳、還暦となります。また、私は小学校3年より剣道を始め、ここまでなんとか続けてくることができました。剣道歴は50年を超えました。「継続は力なり」といいますが、ここまで続けてきた教員生活や剣道が、私にとってどのような力になっているか、まだよくわかりません。これから健康に気をつけて、職務と剣道に一生懸命取り組んでいきたいと思っています。今後もしよろしくお願い申し上げます。

「合唱コンクールを終えて」

生徒保健部 城田 美咲

6月11日(火)、豊多摩高校に着任して初めての合唱コンクールを無事終了することができました。お忙しい中、会場まで足をお運びいただいた保護



者の皆様、当日の運営や広報活動に携わっていただいたPTAの皆様、多大なるご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。例年利用してきた府中の森芸術劇場が改修工事中であることを受け、今年度は豊多摩高校としても初めての利用となる調布市グリーンホールでの実施となりました。今回の会場のキャパシティに合わせて策定したブロック毎の入れ替え制や人数規制の導入等のルールにより、お手数やご迷惑をおかけしたのではないかと存じます。当日の会場内導線の混乱を懸念しておりましたが、皆様のご理解ご協力により、円滑に運営を進めることができました。心より御礼申し上げます。

さて、学友の皆さん、今年度の合唱コンクールはいかがでしたか？自由曲選曲、パート決め、音取り練習、全体練習、リハーサルなど、さまざまな過程を経て迎えた本番の舞台で、皆さんは何を想いながら演奏しましたか？当日は舞台袖から皆さんの演奏を聞かせてもらいましたが、どのクラスも演奏も熱意や力強さを感じられるもので、集中力のある素晴らしい演奏だったと思います。

しかし、その中でも、最優秀賞クラスをはじめとする3年生の演奏は、技術力の高さだけでなく、聴衆の心を揺さぶる力をもつ感動的なものでした。『豊多摩生って、ここまでやるのか！』と思わず呟いてしまったほどです。学友同士でぶつかり合い、悩み、辛い思いをすることも多々あったと思いますが、一つの旋律を美しく歌い上げるために、一つのハーモニーを澄んだ響きに仕上げるために、クラスの学友と団結し、妥協することなく一つの音楽を創り上げた今回の経験は、皆さんが抱く「こうしたい」「こう在りたい」という将来の希望や夢を実現させていくための原動力になっていくことを確信しています。

また、日々のキーボードの貸し出しから、会場の下見、当日の誘導・警備・進行・清掃に至るまで、本番の裏では、行事委員をはじめとする多くの学友が動いてくれました。主体的で責任感溢れる皆さんの活躍無くして、合唱コンクールの成功は成し得ませんでした。行事担当として皆さんと共に活動する中で、私自身、多くのことを学ぶことができました。各委員の皆さんは、来年度以降の合唱コンクールがより素晴らしい行事となるよう、今年度の課題を明確にし、運営方法をブラッシュアップしていきましょう。

最後になりますが、行事担当として、音楽科として、皆さんのエネルギーに満ちた素晴らしい音楽活動に携わることができて、本当に幸せでした。全学友の皆さん、ありがとうございます。次は記念祭と体育祭ですね。引き続き、皆さんの創造力・行動力を目の当たりにできることを楽しみにしています。

異動
教科順・敬称略

※転出入の教員の個人名は、こちらではカットさせていただきます。